



2020年 8月 6日  
第11号

# JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



## 75年前 米軍により広島に原爆投下

# 8月6日「原爆の日」

1 4版 2020年(令和2年)8月6日(木) 毎日新聞 第51997号

原爆慰霊碑に向かう人々



## 75年 核廃絶へ連帯を

### 広島原爆の日

### 市長「自国第一」台頭に懸念

広島は6日、米軍による原爆投下から75回目の「原爆の日」を迎え、広島市中区の平和記念公園で平和記念式典が開かれた。松井一実市長は平和宣言で、新型コロナウイルスの感染拡大による自国第一主義の台頭に懸念を示し、核兵器廃絶と世界平和の実現に向け、連帯を呼びかけた。日本政府には昨年にも続き、被害者の思いを受け止め、3年前に国連で採択されたものの未発効となっている核兵器禁止条約の「締約国」になるよう求めた。

(9面に関連記事)

方国や欧州連合(EU)代表の駐日大使らが出席した。核保有大国は中国を除く米露英仏が参列し、原爆が投下された午前8時15分に合せて1分間の黙とうをささげた。

平和宣言で松井市長は、約100年前にスペイン國が台頭し、第一次大戦から原爆投下に至ったと指摘し、「自国第一主義による懸念なく、連帯して脅威に立ち向かわなければならぬ」と訴えた。

そのうえで「広島には核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて連帯すること、市民社会の総意としていく責務がある」と表明。50年前に発効した核拡散防止条約(NPT)と、核兵器禁止条約について「この枠組みを有効に機能させるための決意を固めるべきだ」と語り、核兵器を完全に廃絶することを求めた。

松井市長と遺族代表は式典で、この1年間で死亡が確認された4943人の名前が記された原爆死没者名簿を原爆慰霊碑下の奉安箱に納めた。名簿119冊に記録された人数は全部で32万4129人となった。被害者健康手帳の所持者は3月末現在で過去最少の13万6682人となり、平均年齢は83・31歳に達している。

【小山美砂】

これまで多くの東労組組合員が広島に立ち、核の恐ろしさ、平和の大切さを学んできました。

私たちには学んだことを次の世代に引き継いでいく責務があります。

核のない世界へ！  
平和のために学んだことを語り継いでいこう！